

オオジシバリ (大地縛り)

名前の意味：大きなジシバリの意味。ジシバリは、茎が地面を這う様子を、地面を縛ると表現した。

分類：双子葉類、キク科、ニガナ属

(キク科の栽培植物：ヒマワリ、フキ、レタス、ゴボウ)

好きな場所：日当たりのよい湿った道ばた、田んぼのあぜ

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：地面をはう茎。ちぎると出る白い汁。たんぽぽに似た黄色い花がたんぽぽよりは細長い茎の先に付く。

種子の運ばれかた：風に飛ばされる

花弁の数：合弁、5裂 (たくさんの花が集まってひとつの花に見える。1つの花の形は小さくてよく見えない)

花の時期：4—6月

食べ方：若葉をゆでておひたしにする。

見分け方：タンポポの仲間とは、茎が地面をはうこと、花がぎっしり詰まった感じでないことで区別できる。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★

総合難易度 ★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)